

【参考資料3】

令和8年度EBPM推進支援業務  
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項目	内容										
1 日時	令和8年3月17日 14時25分から15時50分まで										
2 場所	本館5階502会議室 ※提案者は Zoom により出席										
3 出席委員	<table border="0"> <tr> <td>総務局</td> <td>施策形成・広報担当部長</td> </tr> <tr> <td>総務局経営企画チーム</td> <td>担当課長(戦略推進担当)</td> </tr> <tr> <td>総務局施策形成支援チーム</td> <td>担当課長</td> </tr> <tr> <td>総務局広報課</td> <td>課長</td> </tr> <tr> <td>農林水産局</td> <td>農水産振興担当部長</td> </tr> </table>	総務局	施策形成・広報担当部長	総務局経営企画チーム	担当課長(戦略推進担当)	総務局施策形成支援チーム	担当課長	総務局広報課	課長	農林水産局	農水産振興担当部長
総務局	施策形成・広報担当部長										
総務局経営企画チーム	担当課長(戦略推進担当)										
総務局施策形成支援チーム	担当課長										
総務局広報課	課長										
農林水産局	農水産振興担当部長										
4 議題	令和8年度EBPM推進支援業務										
5 担当部署	施策形成支援チーム										
6 開催方法	参集										
7 議事内容	<p>業務予定者の選定にあたり、次のとおり委員から評価・選定理由を確認した。</p> <p>A 社:三菱UFJリサーチ&amp;コンサルティング株式会社 B 社:株式会社中国四国博報堂 C 社:株式会社日本総合研究所</p> <p>【A社】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 業務の理解が深く、ノウハウも有している。</li> <li>○ 事業者として豊富な経験を持ち、十分な情報量を有している。</li> <li>○ 自治体の施策形成プロセスと後方支援の重要性を深く理解し、公共分野の具体事例を交えた実行性のある提案となっている。</li> <li>○ 自治体における EBPM の難しさや行政職員のスキルを理解し、それぞれのステップで具体的な伴走支援の段取りを示しており、事業目的達成に向けた道筋が明確。</li> <li>○ 全体的に事業課に寄りそって業務を進めていく内容となっている点が評価できる。</li> </ul> <p>【B社】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ データ・エビデンス収集・整理は優れているが、実行体制に不安がある。</li> <li>○ 基礎基本にのっとった提案であり、一定の支援は可能と考えるが、EBPM 関連の実績が乏しく、経験・ノウハウの面でやや不安がある。</li> </ul> <p>【C社】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国における伴走支援の実績があり、信頼できる。</li> <li>○ 本業務の趣旨をよく理解し、実績豊富な実施体制が確保されており評価できる。</li> <li>○ 全体計画書及び行程表が明確に示されている点は評価できる。</li> <li>○ 提案に具体性が乏しく、アカデミックな側面が強いため、地方自治体の伴走支援における実行性にやや不安がある。</li> <li>○ 一般管理費 22%は他提案者と比較して高い。</li> </ul>										

		<p>【総合評価】</p> <p>○ 提案内容や実施体制の面から、最も効果的な業務遂行が期待できるのは A 社である。</p> <p>(以上)</p>
--	--	---